



YUTA SAWAZAKI

澤崎 佑太

愛媛大学
プロテオサイエンスセンター

SBIRでの 取り組み

イネ種子生産抗体で実現する バイオ医薬品の発展

SBIRでは「イネ種子生産抗体で実現するバイオ医薬品の発展」というテーマで植物工場の収益性向上とバイオ医薬品の高コスト化と生産施設不足の解決を目指し、植物工場でのバイオ医薬品生産技術の開発を行いました。私は技術開発と事業化を担当しました。

略歴

● 学歴

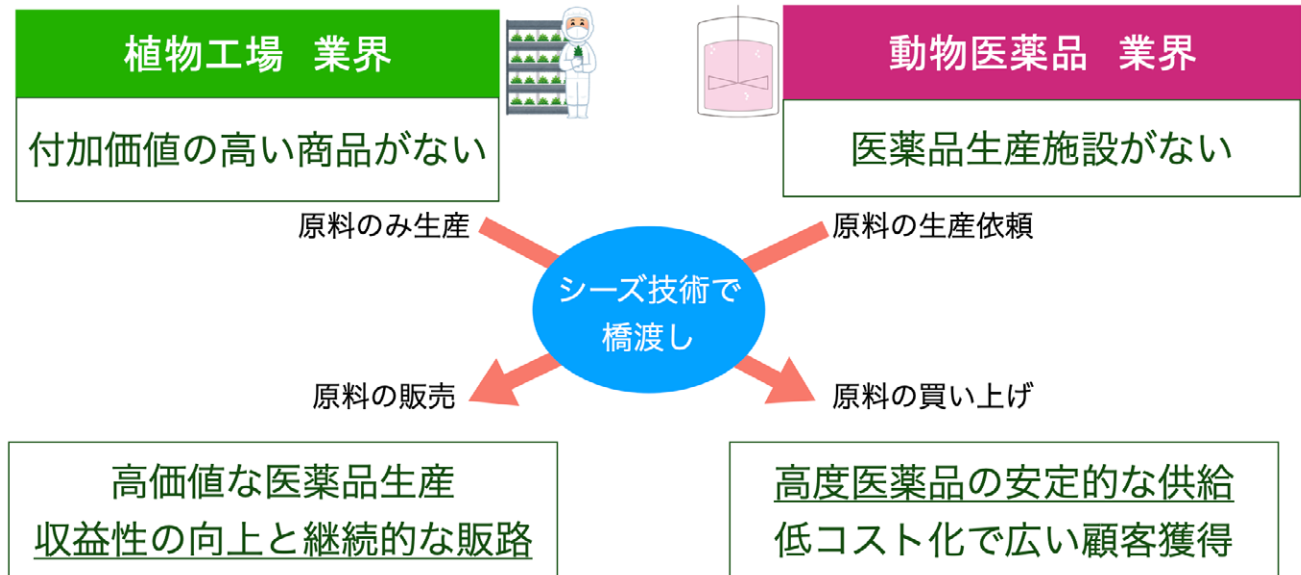
1994年:愛媛県松山市生まれ
2013年:松山東高校 卒業
2018年:九州大学理学部 卒業
2021年:九州大学院システム生命科学府 卒業
2023年:愛媛大学理工学研究科 入学

目指すCxO像

設立予定のスタートアップはバイオ製品を安価かつ大量に生産するプラットフォームを構築することを目標としており、そのCEOとして本事業をきっかけとしてバイオ技術の研究開発・事業化を業界全体を通して発展させていきたいと考えています。

ビジネスモデル

2者の課題を解決するビジネスモデル



技術シーズ

イネによる抗体生産の特徴

